

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2015-106895 (P2015-106895A)

【公開日】平成 27 年 6 月 8 日 (2015.6.8)

【年通号数】公開・登録公報 2015-037

【出願番号】特願 2013-249624 (P2013-249624)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/107 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

H 0 4 N 1/10

G 0 6 T 1/00 4 3 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 22 日 (2016.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿台に載置された原稿からイメージセンサによって画像を読取らせる画像読取制御装置であって、

前記原稿のサイズを入力する入力手段と、

前記入力手段により入力されたサイズに基づいて前記イメージセンサによる読取範囲を設定する設定手段と、

前記イメージセンサを用いて前記設定手段により設定された読取範囲の原稿を読取るよう制御する制御手段と、

該読取によって得られた読取領域から複数の領域それぞれの画像の特性を比較する比較手段と、

前記比較手段による比較の結果に従って、残りの画像を読取るかどうかを決定する決定手段とを有し、

前記制御手段は、前記決定手段により前記残りの画像を読取ると決定した場合には、前記イメージセンサを用いて前記残りの画像を読取るよう制御し、前記決定手段により前記残りの画像の読取を行わないと決定した場合には、前記イメージセンサによる読取を中止するよう制御することを特徴とする画像読取制御装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記設定手段により設定された読取範囲が前記イメージセンサによる読取可能な範囲であるかどうかを調べ、前記読取範囲が前記読取可能な範囲であると判断された場合には、前記原稿を読取るよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取制御装置。

【請求項 3】

前記入力手段はさらに前記原稿の載置方向を入力し、

前記入力手段により入力された前記原稿の載置方向と前記原稿台に載置された前記原稿

の載置方向とが一致しない場合には、ユーザに原稿を回転して載置するよう通知する通知手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像読取制御装置。

【請求項 4】

前記画像の特性は、予め定められたサイズの複数の領域それぞれから得られる各画素の輝度値に関し、対応する位置の輝度値の差の二乗平均、差の絶対値の平均や相関、共分散のいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取制御装置。

【請求項 5】

前記設定手段は、前記読取範囲を、前記入力手段により入力された原稿のサイズの長辺と短辺に基づいて設定することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像読取制御装置。

【請求項 6】

原稿台に載置された原稿からイメージセンサによって画像を読取らせる画像読取制御装置であって、

前記原稿のサイズを入力する入力手段と、

前記入力手段により入力されたサイズに基づいて前記イメージセンサによる読取範囲を設定する設定手段と、

前記イメージセンサを用いて前記設定手段により設定された読取範囲の原稿を読取るよう制御する制御手段と、

該読取によって得られた読取領域から複数の領域それぞれの画像の特性を比較する比較手段とを有し、

前記制御手段は、前記比較手段による比較結果に従って、前記イメージセンサによる前記設定手段により設定された読取範囲の読取を中止するよう制御することを特徴とする画像読取制御装置。

【請求項 7】

前記比較手段による比較結果に従って、残りの画像を読取るかどうかを決定する決定手段をさらに有し、

前記制御手段は、前記決定手段により前記残りの画像を読取ると決定した場合には、前記イメージセンサを用いて前記残りの画像を読取るよう制御し、前記残りの画像の読取りを行わないと決定した場合には、前記イメージセンサによる前記設定手段により設定された読取範囲の読取を中止するよう制御することを特徴とする請求項 6 に記載の画像読取制御装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像読取制御装置と、

前記原稿台と、

前記イメージセンサと、

前記イメージセンサを予め定められた方向に移動させる移動手段と、

前記原稿からの読取を操作する操作パネルとを有することを特徴とする画像読取装置。

【請求項 9】

前記原稿をカバーする原稿カバーをさらに有し、

前記原稿カバーの裏面には前記原稿を圧接する圧着ブラテンが設けられており、

前記原稿の読取りにおいて、前記イメージセンサは前記設定手段により設定された読取範囲に従って、前記原稿、又は、前記圧着ブラテンの表面を読取ることを特徴とする請求項 8 に記載の画像読取装置。

【請求項 10】

前記圧着ブラテンの表面を読取ることによって得られる輝度値の輝度分布は均一となる特性をもつことを特徴とする請求項 9 に記載の画像読取装置。

【請求項 11】

前記原稿は前記原稿台の端に突き当てて載置され、

前記原稿の読取りは前記突き当てた前記原稿台の端から前記移動手段により前記イメー

ジセンサを移動させることで行われることを特徴とする請求項 8 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 12】

前記画像読取制御装置は、ホスト装置を含み、

前記ホスト装置は、ユーザに対して画像読取に関するメッセージを表示する表示手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取制御装置。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像読取制御装置の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項 14】

原稿台に載置された原稿からイメージセンサによって画像を読取るように制御する画像読取制御装置の画像読取制御方法であって、

前記原稿のサイズを入力する入力工程と、

前記入力工程において入力されたサイズに基づいて前記イメージセンサによる読取範囲を設定する設定工程と、

前記イメージセンサを用いて前記設定工程において設定された読取範囲の原稿を読取るよう制御する制御工程と、

該読取によって得られた読取領域から複数の領域それぞれの画像の特性を比較する比較工程と、

前記比較工程における比較の結果に従って、残りの画像を読取るかどうかを決定する決定工程とを有し、

前記制御工程は、前記決定工程において前記残りの画像を読取ると決定した場合には、前記イメージセンサを用いて前記残りの画像を読取るよう制御し、前記決定工程において前記残りの画像の読取を行わないと決定した場合には、前記イメージセンサによる読取を中止するよう制御することを特徴とする画像読取制御方法。